

平成29年7月20日(木)



つつじが丘小学校
学校だより

つつじ

昭島市立つつじが丘小学校長 上田 祥市



小さな失敗をさせることが大切

校長 上田 祥市

今日から子供たちが楽しみにしていた夏休みです。私も子供の頃、夏休みに入る1学期終業式の日が一番うれしい日でした。その日は、これから始まる長い休みにわくわくして、解放感で自然に顔がゆるむのが自分でもわかったほどです。きっと子供たちにとっても、今日はそんな日になるのでしょう。

子供は、様々な体験で学びを深めます。夏休みでは、ゆったりとした時間や家から離れる体験、人や物との出会いなど、学校では体験できないこともたくさんあるでしょう。ぜひ、夏休みでできない体験をたくさんやってほしいと思います。

さて、先日はお暑い中、本校の土曜学校公開ではたくさんの方にご参観いただき、ありがとうございました。学期末ということもあり、どの学年も発表が多い内容でした。これまで頑張ってきたことを保護者に観てもらうため、どの子も張り切って発表していることが伝わってきました。セーフティ教室も一緒に参加していただき、ありがとうございました。1・2年生は不審者対応について、3・4年生は万引き防止について、昭島警察の方からお話を聞きました。どの子も真剣に取り組んでいました。5・6年生は、インターネットとの賢い付き合い方について、インターネットユーザー協会の小寺信良さんから教えていただきました。

4校時の保護者対象の「ネットとうまく付き合うために」の小寺さんの講演には、50名を越える保護者に参加いただき、スマホやゲーム機の具体的な操作をじかに見せていただきながら、わかりやすく教えていただきました。

小寺さんの話の中で、心に残っている言葉があります。それは、「小さな失敗をたくさんさせてください。失敗を恐れてネットの世界から子供を離し、ある年齢で急に与えられると、突然大きな失敗をすることになります。子供には段階的に制限を緩めていく。その制限の中で小さな失敗をしていくことで、インターネットとの上手な付き合い方を学んでいきます。」という話です。

これは、教育の中でも共通の大切な視点です。子供が失敗しないよう、転ばぬ先の杖ばかりついていると、子供が大きくなって社会人になった後大きな失敗をしてしまうことはよくある話です。小さな失敗を失敗と捉えず、学びのチャンスと捉えることが大切です。子供たちは、自分で小さな失敗を繰り返して成長していくのです。そこで、学んだことは、自分の経験値として体に宿り、将来、困難な状況も乗り越える知恵を生み出してくれるのだと思います。

明日からの夏休みで、大したことではないと見えても子供たちなりに勇気を出してチャレンジしていることがきっとたくさんあると思います。ちょっと気持ちもゆったりさせて、子供たちの様々なチャレンジを見守ってください。

夏休みが明けて、8月29日の2学期始業式には、全員が元気に、そして小さなチャレンジと小さな失敗を経験して自信をつけ、一回り大きく成長して、登校してくるのを楽しみに待っています。

では、すてきな夏休みを。

